

1 年 次 生

声優学科

学期	科目名	担当講師
春	言葉の基礎 I	滝沢ロコ

科目概要

俳優声優は美しい日本語を使いこなせなくてはなりません。そのために必要な法則や技術を学びます。発音、調音、正確なアクセントを身につけ、滑舌よく読み話せるように。また、発音に必要な顔や唇、舌の筋力アップを目指します。

到達目標

- ・アクセントの型と言語の法則(母音の無性化、長音など)を覚えます。
- ・アクセント辞典を自在に活用できるようになります。
- ・本来の発音を学び、出来るようになります。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	言葉の法則	テキストの法則解説部分を説明。正しいアクセントと発音(国際音声記号)を学び、実演します。
第2回	口唇トレーニング 母音の練習題その1「a」	日本語発音の基本である母音を正確に発音し、正しいアクセントを覚えます。
第3回	母音の練習題その2「i」	母音の練習題を行います 豊語集早口言葉をペンを咥えて発音練習します。
第4回	母音の練習題その3「u」	母音はすべての音の基本、更に学びます。
第5回	母音の練習題その4「e」	顔、首、舌、唇等の筋力をアップさせ、実際に言ってチェックします。
第6回	母音の練習題その5「o」	正しいアクセントで言い、表情を伴ってよい発音を作ります。
第7回	1クォーター練習題の総括筆記テスト	1クォーターでやった事が理解できているかを確認します。

クォーター末試験評価方法

出席点50%：平常点30%：試験20%

練習題の復習がきちんと出来ているか、顔や首、舌の筋肉をしっかりと使えるようになっているか、正しい発音、アクセントを目指せているかをみます。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	1Qの復習と確認 サブテキスト「こんきょう寺」	間違えた所を確認し、勉強の仕方を点検します。
第2回	母音、単子音練習題その1 サブテキストと合わせての演習	アクセントを学びつつ、母音の復習と法則の確認をします。
第3回	母音、単子音練習題その2 合わせて口唇のトレーニング	正しい発音は、口唇、舌の筋力が無いとできないので、筋力アップを図ります。
第4回	母音、単子音練習題その3 「こんきょう寺」	特別な子音の発音を練習します。 「こんきょう寺」で旧型アクセントを学びます。
第5回	単子音練習題その4「ka行」 さらに使いこなせるように	言葉に慣れ、練習題を正しく読めるように学びます。 粋と共に発音する音を学びます。
第6回	単子音練習題その5「ga行」 舌の位置が正しいかを確認	息を強く出しながら発音し、次第に息を少なくしていきます。
第7回	単子音練習題その6鼻濁音 強くても美しい音に	苦手な人が多く難しい発音なので、法則と共に確認します。
第8回	2クォーター練習題の総括筆記テスト	今までやった事が理解できたかを確認します。

学期末試験評価方法

出席点50%：平常点30%：Q末試験20%

日常的に反復練習が出来ているかを確認し、さらに、正しいアクセントと美しい日本語の発音を繰り返し学び、自分のものにできているかをみます。

各課題や進み具合は、状況により適宜変更することがあります。

声優学科

学期	科目名	担当講師
秋	言葉の基礎Ⅱ	滝沢ロコ

科目概要

一切の感情表現を除いて徹底した基礎技術を身につける授業です。
意欲的に学べるよう練習課題を豊富に提供して、楽しく学びながら美しい日本語を使いこなせるように勉強していきます。

到達目標

・春学期の成果と課題を踏まえて更に日常的に練習を重ねていかれるよう、早口言葉、畳語集の練習を繰り返し行います。
・アクセント、母音の無声化、文節等言葉の法則を確実に覚え、実際に使いこなせるようにします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	前期の復習と確認 単子音練習その1「sa行」	間違えた所を確認し、勉強の仕方を点検。発音練習は毎回やります。舌を使う音を正しく発音します。
第2回	更に滑舌を良くする為に 単子音練習その2「ta行」	アクセント、調音を確認して行えているかを学びます。更に舌を使う音を練習します。
第3回	単子音練習その3「da行」 口唇を使って丁寧に	法則を理解し、実際に言えるかを学びます。強めに舌を使う音を学びます。
第4回	単子音練習その4「na行」 呼吸と合わせてしっかり発音	舌の筋力がついていないと発音できないので、確認して練習します。
第5回	単子音練習その5「ha行」	更に口の中で作る音の練習と正しく発音できているかをみます。
第6回	ヒヤリングテスト	ヒヤリングで法則が聞き取れるかをチェックします。
第7回	3クォーターの総括筆記テスト	今までやった事が理解できているかをみます。

クォーター末試験評価方法

出席点50%：平常点30%：試験20%
日常的に繰り返し練習が出来ているかを確認し、正しいアクセントと美しい日本語の発音を学び、身につけてきているかをみます。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	3Qの復習と確認 単子音練習その1「pa行」	テストの答え合わせ 単子音練習を進め、合わせてサブテキストを練習します。唇を使う音を学びます。
第2回	美しい日本語を話す為に 単子音練習その2「ba行」	引き続き単子音練習を行い、早口言葉、畳語集と合わせて、音を正しく作れるようにします。唇を強く使って音を作ります。
第3回	単子音練習その3「ma行」	しっかりした発音が出来よう練習します。唇を閉じ、鼻腔に息を通す音を学びます。
第4回	単子音練習その4「ja行」	唇の筋力がついているかを確認し、はっきり発音します。半母音という音を学びます。
第5回	単子音練習その5「ra行」「wa」	息を通す場所を確認しながら練習。姿勢や筋力も合わせて習得します。舌を使う音、唇を使う音を学びます。
第6回	その他の音の練習	舌も唇も練習を続けないと筋力維持できないので、はっきり発音できるように反復練習します。
第7回	ヒヤリングテスト	ヒヤリングで法則が聞き取れるかをチェックします。
第8回	4クォーターの総括筆記テスト	総合チェック

学期末試験評価方法

出席点50%：平常点30%：試験20%
・母音の口形を確実に
・呼吸、発声と調音の確認
各課題や進み具合は、状況により適宜変更することがあります。

声優学科

学期	科目名	担当講師
春	朗読 I	埴野 ひろ子

科目概要

文章を非言語表現を用いて立体的に音声化し、その内容を届けるための基礎を学びます。音声化する時に必要なのは想像力、そして聴く力です。対象者に朗読を聴かせる意識と、他人の朗読を聴く力を養います。発声や滑舌練習も授業冒頭で行います。

到達目標

前半は様々な文章を意識的に練習することにより、朗読の基本としての、相手に届く声を出す(発声)、クリアな話し方(発音)、間と緩急、朗読を助ける体の使い方を身に付けます。後半は、物語を舞台に乗せて大勢に聴かせる実践的稽古をすることにより、伝える力を付けます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	朗読概論。4つの声の特性と練習	朗読の学ぶときに何が必要かガイダンスをします。私達が持つ声の特性を4つに分け、その特性を活かす練習をします。
第2回	プロミネンスや句読点を考える	どのように読めば伝わるのか、朗読用に読点を打ち直し、何を強調したらよいかを考えながら作品の抜粋を読む練習をします。
第3回	論理的な文章を朗読する	書かれている中身を理解し、相手に伝える練習をします。教材は『コップへの不可能な接近』
第4回	古典の文章を朗読する	ここから4回のテキストは『ういらう売り』。歌舞伎十八番の1つであるこの作品の解釈と言葉遊びを理解します。
第5回	「ういらう売り」の解釈と朗読	言葉に潜む意味の面白さを理解しながら、促音や長音、鼻濁音などを使ってリズムの変化を意識して練習します。
第6回	非言語表現を駆使する	グループ分けし、『ういらう売り』を分ち読みしながら、人前で語る稽古をします。
第7回	成果の確認	他の人の語りを聴く、前の人の語りから繋ぐ、緩急の変化を付ける、等一連の表現を認識します。

クォーター末試験評価方法

中間評価: 予習をしてきたか、授業を受ける態度と積極性などの評価が60%。出席率30%。実技試験10%。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	物語を朗読する	ストーリーを伝える時、登場人物をよりリアルに描き出すための人物設定、地の文とセリフの読み方を学びます。テキスト『星の王子さま』
第2回	声と身体との連動	場面設定を明確にし、距離や動きから来る台詞の変化を考えます。テキスト『星の王子さま～砂漠のシーン』
第3回	台詞の中の感情表現	感情表現がありきたりの一般的な言い方になっていないか、リアルな表現を考えます。テキスト『星の王子さま～バラのシーン』
第4回	テーマの理解	作者の伝えたいテーマを、どのように聴衆に伝えたらよいか考え、朗読します。テキスト『星の王子さま～狐のシーン』
第5回	構成を考えて表現する	『星の王子さま』構成台本にのっかって稽古します。
第6回	分ち読みと舞台転換	分ち読みをする際の、言葉の受け渡しや変化、リズムを稽古します。テキスト『星の王子さま・構成台本』
第7回	台詞と地の文を厳密に語る	地の文がきちんと語れているか、台詞の中身が観客まで届いているか、音楽の中で言葉が流れていないか、再点検して稽古します。
第8回	成果の確認	分ち読みや群読を通して、朗読空間を作れるか？発表します。

学期末試験評価方法

学期末評価: 朗読に対して真摯取り組んでいるか、課題に挑戦しているか、その意欲評価が60%。出席率20%。試験20%。

声優学科

学期	科目名	担当講師
秋	朗読Ⅱ	埴野ひろ子

科目概要

1つの長い作品には、各シーンに伏線やテーマの意味が込められています。まとまった作品を読み通すことによって、全体を考えた朗読を追求します。グループで、舞台を想定し自主的に考える稽古をしたり、AVを使つての立体的な授業も行います。

到達目標

ある程度まとまった文章を、自分で構成やメリハリを考えながら朗読できるようになります。一方、詩などは作者の文章の特徴をつかみ、使われている言葉の響きも意識して表現できるようになります。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	作者の文体の特徴を考える。	作者への理解と咲く品についての理解を、『セロ弾きのゴーシュ』他で深めます。
第2回	的確な描写をする。	何を意味しどんな動きを描写している？を、聴き手にわかるように伝える稽古をします。テキスト『セロ弾きのゴーシュ～猫のシーン』
第3回	キャラクターの設定	自分ならどんなキャラクターにするだろうか？と考えた時、その根拠となる文章を探し、性格付けをしてみます。カッコウのシーンより。
第4回	場面設定をリアルに描く。	役を分担し、グループ毎に動きを付けて、リアルに表現して気づいたことを話し合います、子だぬきのシーンより。
第5回	地の文をきちんと読み込む。	朗読の基本は地の文にあり、地の文をきちんと語れるか、再度意識して朗読します。野ネズミの親子のシーンより。
第6回	DVD鑑賞と意見交換	出来上がった他人の表現を聴くことにより、客観的な理解を深めます。映像付きと音声のみの表現の違いも考えます。
第7回	成果確認	『セロ弾きのゴーシュ』より、朗読箇所を決めて各自発表します。

クォーター末試験評価方法

中間評価方法：自身の課題をクリアする努力をしているか、積極的に挑戦しているか、その意欲と成長度60%、出席率20%、試験20%

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	文末で表す。	夏目漱石『夢十夜・第三夜』を稽古し、この物語の世界観、古典的文学作品の文体を表現します。
第2回	一番届く声で読んでいるか。	ニュートラルな声の出し方、語尾や言葉の響きを厳密にチェックします。テキスト『夢十夜・第三夜』
第3回	暗唱することの効果	あるシーンを暗誦することで、本当に自分の言葉として声に出しているか検証します。『夢十夜・第三夜』より。
第4回	現代詩の朗読	詩の理解を深めるために、様々な現代詩の読み方を学びます。
第5回	定型詩の朗読	朗誦の手法を用いながら、七五調に流されず、内容を伝えられるか稽古します。詩『君しにたまうことなかれ』他。
第6回	音楽と朗読	音楽とぶつからない、音楽に流されない、音楽のある場合の間の取り方を工夫します。
第7回	成長確認	これまで学んできたことが表現に反映されているか、試験の朗読で評価します。題材は各種詩の中から。
第8回	1年間のまとめ	特に感情の揺れを表す間について考えながら発表し合い、1年間の成長をチェックします。

学期末試験評価方法

学期末(学年末)評価方法：出席率・授業態度・春期と比べての成長度を総合的に判断70%。試験のために準備して、その力を発揮できるかに30%。

声優学科

学期	科目名	担当講師
春	ヴォーカル I	黒沢裕一

科目概要

音楽、歌唱について見直し、楽典の基礎となる調号、Key、音符の長さなどを学びます。1クォーターでは童謡、唱歌を6曲、2クォーターではカーペンターズの「Top of the world」(英語詞)を歌唱。

到達目標

1クォーターではメロディー、フレーズを正しく歌唱する。2クォーターでは英詞の発音を怖がらず、リズムに乗り楽しく歌唱します。

- ・しっかり声を出しているか。
- ・しっかり歌唱しているか。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	一年間の授業内容の説明	顔合わせの後、楽典の基礎を学びます。
第2回	正しい姿勢で発声する。	男女の音域の違いを知り、各自の音域を調べます。
第3回	童謡、唱歌2曲を歌唱する。	「うれしいひなまつり」「雨ふりお月さん」を歌唱します。
第4回	童謡、唱歌2曲を歌唱する。	「夏の思い出」「七つの子」を歌唱します。
第5回	童謡、唱歌2曲を歌唱する。	「ふるさと」「もみじ」を歌唱します。
第6回	クォーター末歌唱試験	全6曲から2曲を選びソロで歌唱します。
第7回	クォーター末歌唱試験	全6曲から2曲を選びソロで歌唱します。

クォーター末試験評価方法

童謡、唱歌のメロディー、フレーズを自分のものになっているか、曲調を理解しているかを見ます。受講態度も加味します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	英語詞の曲に挑戦します。	「Top of the world」のメロディー、英語詞の発音を学びます。
第2回	「Top of the world」を歌唱する。	メロディー、英語詞の発音をしっかり学びます。
第3回	男女3パートに分けます。	各自コーラスパートを覚え込みます。
第4回	しっかり声を出しましょう。	フレーズ、メロディー、発音などを確かめます。
第5回	個人レッスン	マンツーマンで歌唱レッスンします。
第6回	個人レッスン	マンツーマンで歌唱レッスンします。
第7回	学期末歌唱試験	「Top of the world」を各自のKeyで歌唱します。
第8回	学期末歌唱試験	「Top of the world」を各自のKeyで歌唱します。

学期末試験評価方法

リズムに乗り、楽しく歌えているか、英詞の発音にチャレンジ出来ているかを見ます。受講態度も加味します。

声優学科

学期	科目名	担当講師
秋	ヴォーカルⅡ	黒沢裕一

科目概要

現在のジェイポップの根源と言えるアメリカンポップスをとおして、日本語には無い二重母音、曖昧母音などを学びます。3クォーターはヘッド・ミラーの「The Rose」4クォーターはモンキーズの「Daydream Believer」を歌唱します。

到達目標

曲調を理解し、英語詞の発音を恐れず伸び伸びと歌唱する。

- ・曲調を把握しているか。
- ・自信を持って歌えているか。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	「The Rose」を歌唱します。	メロディー、英語詞の発音、意味を学びます。
第2回	フレーズを確かめます。	1, 2, 3コーラスで異なるフレーズを確認します。
第3回	コーラスパートを覚えます。	メロディー、フレーズ、発音などを確かめます。
第4回	個人レッスン	マンツーマンで歌唱レッスンします。
第5回	個人レッスン	マンツーマンで歌唱レッスンします。
第6回	クォーター末歌唱試験	「The Rose」を各自のKeyで歌唱します。
第7回	クォーター末歌唱試験	「The Rose」を各自のKeyで歌唱します。

クォーター末試験評価方法

正しいフレーズ、英語の発音を習得する意欲がどの程度あるのかをみます。受講態度も加味します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	「Daydream Believer」を歌唱します。	メロディー、英語詞の発音、意味を学びます。
第2回	フレーズを確かめます。	1, 2コーラスで異なるフレーズを確認します。
第3回	コーラスパートを覚えます。	メロディー、フレーズ、発音などを確かめます。
第4回	個人レッスン	マンツーマンで歌唱レッスンします。
第5回	個人レッスン	マンツーマンで歌唱レッスンします。
第6回	学年末総括	本年度の英語詞3曲の復習をします。
第7回	学期末歌唱試験	英語詞3曲の中から1曲を選び歌唱します。
第8回	学期末歌唱試験	英語詞3曲の中から1曲を選び歌唱します。

学期末試験評価方法

曲調を把握してるか、英語詞の発音、単語のつながりに対応できているかをみます。また、年間を通して授業に真摯に向き合ったかを見ます。

声優学科

学期	科目名	担当講師
春	演技の基礎 I	一城みゆ希

科目概要

基礎レッスン(エクササイズでリズム感、腹式呼吸、発音、早口言葉、二人一組で喜怒哀楽、等)を大切に！滑舌、表現力等を、演技の基礎を初期の段階でしっかりと身につけ、映画、アニメの台本から台詞を抜粋し、演技の勉強をいたします。

到達目標

春学期の半年間で生徒全員に自信がつけます。
さらに次のステップアップに向かい、前向きに挑戦する力がつけます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	基礎レッスン しっかり話せるように。	基礎レッスンを中心に！自己紹介を。
第2回	実習アンサンブル しっかり読めるように。	基礎レッスン、本読み、キャストイング等。
第3回	実習アンサンブル まず、やってみましょう。	基礎レッスン、本読み、キャストイング等。 抜粋シーンの台詞、録音。
第4回	実習アンサンブル 自分の声を聴いてみましょう。	基礎レッスン、本読み、キャストイング等。 抜粋シーンのチェック。アドバイス。
第5回	実習アンサンブル 更に、一歩進みましょう。	基礎レッスン、本読み、キャストイング等。 抜粋シーンの台詞、録音。
第6回	実習アンサンブル 自分の台詞を聞いてみましょう。	基礎レッスン、本読み、キャストイング等。 抜粋シーンの台詞、チェック。アドバイス。
第7回	テスト	基礎レッスン、新しい抜粋シーン、初見読み。

クォーター末試験評価方法

演技力60%、実技試験10%、出席率30%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	新しい作品 作品を味わいます。	基礎レッスン、作品上映会
第2回	実習アンサンブル 表現を豊かにしましょう。	基礎レッスン、抜粋シーンの台詞、録音。
第3回	実習アンサンブル 自分の思うようにできているかみます。	基礎レッスン、抜粋シーンの台詞、チェック。アドバイス。
第4回	実習アンサンブル 相手と会話しましょう。	基礎レッスン、抜粋シーンの台詞、録音。
第5回	実習アンサンブル 相手と交流ができていますか。	基礎レッスン、抜粋シーンの台詞、チェック。アドバイス。
第6回	実習アンサンブル 自分の思いを出しましょう。	基礎レッスン、自由に表現、録音。
第7回	実習アンサンブル 思い切ってやってみましょう。	基礎レッスン、自由に表現、チェック。アドバイス。
第8回	テスト	基礎レッスン、新しい抜粋シーン、初見読み。

学期末試験評価方法

演技力60%、実技テスト10%、出席率30%

声優学科

学期	科目名	担当講師
秋	演技の基礎Ⅱ	一城みゆ希

科目概要

春学期に身に付けた基礎をもとに、更に基礎レッスンを重ねます
滑舌、表現力等を、演技の基礎を初期の段階でしっかりと身につけ、外画、アニメの台本から台詞を抜粋し、演技の勉強を続けます。

到達目標

秋学期は生徒全員が、レベルアップしていく為、基礎レッスンも授業の内容も難易度の高い作品に挑戦した結果素晴らしい成果が出ます。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	基礎レッスン 作品の読み込み。	基礎レッスン、作品上映会
第2回	実習アンサンブル 表現を豊かに。	基礎レッスン、抜粋シーンの台詞、録音。
第3回	実習アンサンブル 自分の思うように。	基礎レッスン、抜粋シーンの台詞、チェック。アドバイス。
第4回	実習アンサンブル 相手と会話。	基礎レッスン、抜粋シーンの台詞、録音。
第5回	実習アンサンブル 相手と更に交流	基礎レッスン、抜粋シーンの台詞、チェック。アドバイス。
第6回	実習アンサンブル 自分の思いを出して。	基礎レッスン、自由に表現、録音。
第7回	テスト	基礎レッスン、自由に表現、チェック。アドバイス。

クォーター末試験評価方法

演技力60%、実技テスト10%、出席率30%

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	表現力の向上1 更に感性豊かに。	基礎レッスン、作品上映会
第2回	表現力の向上2 表現を工夫して。	基礎レッスン、抜粋シーンの台詞、録音。
第3回	表現力の向上3 自分の思いを伝えましょう。	基礎レッスン、抜粋シーンの台詞、チェック。アドバイス。
第4回	表現力の向上4 相手と会話できるように。	基礎レッスン、抜粋シーンの台詞、録音。
第5回	表現力の向上5 相手との交流を自由にできる様。	基礎レッスン、抜粋シーンの台詞、チェック。アドバイス。
第6回	表現力の向上6 総合的に自由に表現します。	基礎レッスン、自由に表現、録音。
第7回	テスト	基礎レッスン、自由に表現、チェック。アドバイス。
第8回	特別授業	基礎レッスン、新しい抜粋シーン、初見読み。

学期末試験評価方法

演技力60%、実技テスト10%、出席率30%

声優学科

学期	科目名	担当講師
春	上演 I	巻島康一

科目概要

- 1.演技の基本及び、その応用を学びながら「演じる楽しさ」を発見する授業です。
 - 2.自身に適した演技術を模索する授業でもあります。
 - 3.受け手(客)目線から、発信者(演者)目線への意識改革を促す授業です。
- ※ 以下の授業計画は目安であり、進捗状況により変化します。

到達目標

- 春学期は以下の4つが主な目標です。
- 1.演技への意識改革。
 - 2.演者の身体作りとコントロール。
 - 3.言動や行動から真意を解析。
 - 4.秋学期の協業に備え、個人の表現力UP。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	「上演」授業とは？	授業の目的と進め方の説明。講師紹介。一年間の流れ説明。学生自己紹介。授業全般についての質疑応答を行います。
第2回	身体コントロール1	『演技は文系？理系？体育会系？』 ウォームアップの準備 上演授業を高校時代の授業に置き換えて考察します。
第3回	身体コントロール2	『ウォームアップ』演技は心と肉体を使って表現するものです。心身を自由にコントロールする為の「組体操音楽ストレッチ」です。
第4回	身体コントロール3	『発声・発音とは？』日常生活での声と、表現としての発声との違いを認識する。ニュートラルな発音の必要性を理解します。
第5回	身体コントロール4	『身体表現とは？ エチュード』簡単な即興劇により、空間のバランス感覚や、コミュニケーションのイロハを体感します。
第6回	心身コントロール1	『動物や機械の動きを完コピ。』簡単な即興劇により、空間のバランス感覚や、動きの心情効果を体感します。
第7回	心身コントロール2	『心情と動作の模倣。』クラスメートが演じた役の心情について意見交換をします。他者の心の動きをコピーする授業です。

クォーター末試験評価方法

- 『1.出席率、2.受講態度、3.洞察力、4.小テスト』 1.出席率は出席した日数を評価します。 2.受講態度は予習復習状況や積極性を評価します。 3.洞察力は、超課題を理解し対応する力と、クラスメートへの観察眼を評価します。 4.小テストは毎回の授業で発表する課題を評価します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	役を考える1	役の解析は、作品テーマを理解した上で成立します。書き手の作品傾向やストーリー展開からテーマを掘り下げる時間です。
第2回	役を考える2	物言いや人間関係から人物像を探ります。 登場人物の感情曲線やバックストーリーを探ります。
第3回	小品戯曲1(既存の作品)	少人数で短い作品を組み立てます。(本読み稽古) 作品における役の意味と必要性を実体験する時間です。
第4回	小品戯曲2(既存の作品)	少人数で短い作品を組み立てます。(粗立ち) 日常的な表現と演技表現の違いを考える時間です。
第5回	小品戯曲3(既存の作品)	少人数で短い作品を組み立てる。(立ち稽古) 登場人物の役割を考える時間です。
第6回	小品戯曲4	台本書き(チームで小品を作ろう1)5分以内 登場人物の役割を考える時間です。修了公演予備知識1
第7回	小品戯曲5	立ち稽古(チームで小品を作ろう2) 登場人物の役割を考える時間です。修了公演予備知識2
第8回	小品戯曲6	発表(チームで小品を仕上げよう3) 登場人物の役割を考える時間です。修了公演予備知識3

学期末試験評価方法

- 『1.出席率、2.受講態度、3.洞察力、4.テスト』 2.受講態度は予習復習状況や協調性を評価します。 3.洞察力は、超課題を素早く理解し対応する力と、クラスメート及び各講師への観察眼を評価します。 4.テストは、第8回にチーム発表する小品の仕上がりを評価します。

声優学科

学期	科目名	担当講師
秋	上演Ⅱ	巻島康一

科目概要

春学期は主に個人の基礎力アップでしたが、今期からは[掛け合い]の課題を増やし「感性の相互作用」や「コミュニケーション能力UP」を図ります。具体的には修了公演の役作りを含めた各担当係(衣装、小道具、音響、etc)等の作業実行です。また「ダメ出し対応力UP」も大切な目標です。

到達目標

秋学期は以下の7つが主な目標です。
1.脚本読解力の向上。2.真意を探る洞察力の向上。3.身体コントロールの向上。4.感情曲線の描写力と正確性の向上。5.協業での対応力向上。6.協業での存在感UP。7.「間」の心理的効果を知る。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	修了公演の稽古準備1	『小品から短編へ』シーンを跨ぐ登場人物たちの役割と性格、素行などを探り、役の組み立てを行います。その1
第2回	修了公演の稽古準備2	『本読み。』シーンを跨ぐ登場人物たちの役割と性格、素行などを探り、役の組み立てを行います。その2
第3回	修了公演の稽古準備3	『粗立ち1』 前回までに組み上げた演技プランを、台本を持ちながら演技検証します。
第4回	修了公演の稽古準備4	『粗立ち2』 前回の検証結果をふまえて、再度、演技を行い、組み立てを洗練させます。
第5回	修了公演の稽古1	『修了公演の台本1』 公演当日までのスケジュール概要と、舞台制作全般の作業説明の後、本読みへ移行します。
第6回	修了公演の稽古2	『修了公演の台本2』 配役発表後、本読みへ移行します。作品テーマや登場人物などの質疑応答を行います。
第7回	修了公演の稽古3	『修了公演の台本3』 1クォーターから行われているウォームアップ後、本読みの小返しと反復練習を行います。

クォーター末試験評価方法

『1.出席率 2.受講態度 3.集中力 4.洞察力 5.ダメだし対応』2.受講態度は協調性と責任感を評価します。3.集中力は、安定した情緒と実行力を評価します。4.洞察力は、超課題の理解と表現が追いついているかを評価します。先輩への観察眼も評価の対象です。5.ダメだし対応は、演出者の要請に素早く対応できるか否かを評価します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	修了公演の稽古4	『修了公演の台本4』 1クォーターから行われているウォームアップ後、本読みの小返しと反復練習を行います。
第2回	修了公演の稽古5	『粗立ち稽古』 台本を手に各シーンの小返しを繰り返し、大枠を詰めて行きます。反復練習により洗練度を上げて行きます。
第3回	修了公演の稽古6	『立ち稽古1』 反復練習で人間関係を深めて行きます。「修了公演の台本2」での衣装プランに基づいた衣装パレードを行います。
第4回	修了公演の稽古7	『立ち稽古2』 効果音ありの反復練習で人間関係を深めて行きます。各シーンの転換段取りを組み、実践してみます。
第5回	修了公演の稽古8	『立ち稽古3』 音響、転換、早替えを含めての通し稽古。小返りで問題点を潰して行きます。
第6回	修了公演の稽古9	『通し稽古1』 スタートからラストまでを止めずに稽古した後、問題点があればその部分を抜き稽古します。
第7回	修了公演の稽古10	『通し稽古2』 スタートからラストまでを止めずに稽古した後、問題点があればその部分を抜き稽古します。
第8回	修了公演の稽古11	『発表会ゲネプロ』 本番と同じ条件での通し稽古です。稽古場ではなく本舞台を使い、お客様を入れずに行う最終稽古です。

学期末試験評価方法

『1.出席率 2.受講態度 3.集中力 4.洞察力 5.ダメだし対応』2.受講態度は協調性と責任感を評価します。3.集中力は、安定した情緒と実行力を評価します。4.洞察力は、超課題の理解と表現が追いついているかを評価します。5.ダメだし対応は、演出者の要請に素早く対応できるか否かを評価します。 修了公演通し稽古での「役の洗練度」も評価対象です。

声優学科

学期	科目名	担当講師
春	上演Ⅰ	大塚みずえ

科目概要

- ・表現することの楽しさを感じてもらいます。
- ・プロとして通用するように客観性も身につけてもらいます。
- ・表現者として必要な「感覚のトレーニング」です。
- ・インプロ、メソッドなどのトレーニング方法を使います。

到達目標

- ・体感として集中しているがリラックスしている感覚を作ってもらいます
- ・子供ごころと客観性のバランスが取れている感覚を作ってもらいます。
- ・心のキャッチボールができる感覚を作ってもらいます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	授業説明・お互いを知る	授業の進め方、どんな感覚を作りたいのかの説明します。感覚チェックします。(集中力、子供ごころ、客観性、イメージ力など)
第2回	感覚トレーニング(集中力+リラックス)	身体感覚、こころの感覚、脳の感覚などを活性化してもらいます。
第3回	感覚トレーニング(子供ごころ)	表現者として大事な子ども心を耕すことで、イメージ力、想像力、感情開放などを体感してもらいます。
第4回	感覚トレーニング(自分自身とつながる)	メソッドを通じて、自分の心とつながる感覚を作る稽古です。
第5回	感覚トレーニング(客観性とイエスアンド)	子ども心を持ちながら、客観性を持つ感覚、イエスアンドという心のキャッチボールする訓練です。
第6回	人前での表現	今までの感覚を使って、実際にエチュードやインプロを体験してみます。
第7回	シーンの出だしを体験	総合チェックです。

クォーター末試験評価方法

出席率20% 通常点40% テスト40%
自分らしい表現ができるか。周りで起こっていることを感じ取ることができるかをみます。
授業の進み具合は、状況により変化することがあります。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	イエスアンド復習	心のキャッチボールする訓練です。
第2回	感覚稽古+小作品	インプロ、メソッド訓練しつつ、2分くらいの小作品を演じてみます。
第3回	感覚稽古+小作品	インプロ、メソッド訓練しつつ、2分くらいの小作品を、立ちで上演してみます。
第4回	感覚稽古+小作品2	インプロ、メソッド訓練しつつ10分くらいの小作品をチーム分けて練習の本読みです。
第5回	感覚稽古+小作品2	インプロ、メソッド訓練しつつ10分くらいの小作品をチーム分けて練習の荒立ちです。
第6回	感覚稽古+小作品2	インプロ、メソッド訓練しつつ10分くらいの小作品をチーム分けて練習の立稽古です。
第7回	インプロショー+小作品2	簡単な人前でできるインプロショー形式+小作品2、テストに向けてリハーサルです。
第8回	インプロショー+小作品2	この作品と、インプロショーを通じて、感覚が身に付いたかチェックします。

学期末試験評価方法

出席点20% 通常点40% テスト40%
集中力+リラックス。子ども心と客観性、イエスアンドの感覚が付いてきたかを見ます。
自分らしい表現ができるかを見ます。
こちらのダメ出しに対応できるか見ます。

声優学科

学期	科目名	担当講師
秋	上演Ⅱ	大塚みずえ

科目概要

春学期で鍛えた感覚を使って、お芝居を上演します。
より実践的な科目です。

到達目標

集中力+リラックス、子ども心と客観性、イエスアンドの感覚をつけ協力してお芝居を上演します。
自分らしい表現ができるようになるのも目的の一つです。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	台本読み1	まずは、この台本で、何が表現してあり、どんな役作りをしたらよいか、台本を読み解くことをします。
第2回	台本読み2	読みで、こころのキャッチボールする訓練をします。
第3回	台本読み3	いろんな役にチャレンジしてみることで、自分がどんな役が得意なのか、どんな役が不得意なのかを知ってもらいます。
第4回	台本読み4	引き続きいろんな役にチャレンジしてもらいます。まだ配役は決定しません。
第5回	台本読み5	いろんな役にチャレンジしてもらいます。この週か次の週には配役を発表します。
第6回	配役発表・荒立ち	配役を決め、その役で荒立ちします。
第7回	配役による荒立ち	荒立ちの状態、ちゃんと表現できているかチェックします。

クォーター末試験評価方法

出席点20% 通常点40% テスト40%
思い切りの良さ、役の読み込み、ちゃんと役として生きているかなどがチェックポイントです。
授業の進み具合は、状況により変化することがあります。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	立稽古1	台詞は覚えてきてもらいます。役を深めてもらいます。
第2回	立稽古2(衣装パレード)	小返しの稽古です。役をさらに深めてもらいます。
第3回	立稽古3(衣装パレード+音響)	動きなどいろいろ試して一番しっくりくるものを見つけていきます。
第4回	立稽古4	私からの提案だけでなく、生徒からの提案も受け、いろんな表現を見つけていきます。
第5回	立稽古5	小返しの稽古です。細かいところをいろいろ考えてみます。
第6回	通し稽古1	衣装を着けて音響も流しながら通してみます。
第7回	通し稽古2	みんなで助け合いながら全体としてよい舞台になるよう努力します。
第8回	ゲネプロ	総合チェックします。

学期末試験評価方法

出席点20% 通常点40% テスト40%
本番に向けた心の持ち方などもチェックポイントです。
その人らしい表現であるかどうかも大事です。
授業の進み具合は、状況により変化することがあります。

声優学科

学期	科目名	担当講師
春	MC I	高森浩二

科目概要

MCとは、master of ceremonies.司会者。番組進行係の事です。まずはその役割を理解し実際に台本を使用して実演してもらいます。様々のイベントや番組がある中で、それに応じたキャラクターのMCを実践します。

到達目標

台本を読み込む、人前に立つ、マイクを持つ、声を出す。といった基本的なことを繰り返し実践します。そこで出た各々の課題をどれだけクリア出来るのかを個々の目標としてもらいます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	自己紹介&MCの役割	簡単な自己紹介とそれぞれの目標を語ります。授業の趣旨説明。発声などの基礎を学びます。
第2回	イベントのMC①	人前で司会をする。といった基本を実践します。いかに人を惹きつけ、的確に進行できるかが問われます。
第3回	イベントのMC②	ご挨拶トークから盛り上げ。そしてエントリーしている人の紹介など盛り上げつつも人の名前の紹介は間違っはいけないところです。
第4回	前説	イベント前の前説は盛り上げつつも注意事項などの確に伝えなくてはなりません。
第5回	抽選会のMC	観客を盛り上げつつも的確なルール説明も求められます。
第6回	トークショーMC①	ゲストを招いてのトークはいかにゲストの話を引き出せるかが問われます。ゲスト役からは客観的にMCも見る事が出来ます。
第7回	トークショーMC②	限られた時間の中で段取りよく、お客さんを飽きさせない構成力も求められます。

クォーター末試験評価方法

出席50% 平常点50%
授業に参加している事。台本をスムーズに読める事。人前に出た立ち振る舞いがしっかり出来ていることなどを評価します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	スポーツイベントMC①	様々なスポーツイベントはノリよく元気よくが求められますので、その勢いを保つテンションが求められます。
第2回	スポーツイベントMC②	ゲストの名前をしっかりと言えるか。そのスポーツに対するリスペクトがあるかが見られます。
第3回	観客とのコミュニケーション	俗に言う「客いじり」。イベントに参加しているお客さんをうまくいじりつつ一体感を作ります。
第4回	ファッションショーMC①	少し長めの実技での司会進行。集中力を保ち進行出来るか。喋りの体力をつけていきます。
第5回	ファッションショーMC②	MCの他にディレクターや音響、モデル役にも挑戦しトータルでイベントを見られるようにしてもらいます。
第6回	フードレポート	テレビでおなじみの「食レポ」ダミーの食を使って実践します。的確なコメントや間合いが必要です。
第7回	TVショッピング	売り込みたい商品をバラエティ豊かに紹介します。楽しく正確に伝えなければなりません。
第8回	緊急時対応	イベント中の災害やトラブル発生時に求められるMCとは。的確で冷静なコメントが必要とされます。

学期末試験評価方法

出席50% 平常点40% 期末試験10% 遅刻欠席がない事。スムーズな台本読み、進行が出来ているか。授業に対する準備が出来ているか。などを評価のポイントとします。

声優学科

学期	科目名	担当講師
秋	MC II	高森浩二

科目概要

進行フォーマットに従った司会進行とアドリブの効いたMCを更に進化させていく事。式典や記者発表的な少し硬めのMCにも挑戦していきます。またディレクターや音響役にも挑戦し総合力を上げていきます。

到達目標

春学期で学んだ基本をもとに更なるレベルアップを求めています。具体的には台本を読み込む、立ち振る舞い。発声。アドリブ力。これに加え進行係。音響役もこなす事が出来るかといったところを目標にしていまいます。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ゲーム大会MC	レクリエーションにも進行役が必要です。楽しみつつも間延びしないMCをしてもらいます。
第2回	スポーツMC	盛り上げつつ実況のような喋りが求められます。
第3回	披露宴の司会①	結婚披露宴の司会は固い場面から砕けた雰囲気まで様々なトーンでのMCが求められます。
第4回	披露宴の司会②	人名の紹介など、決してミスは許されない場面が多々あります。スムーズに司会進行出来るか問われます。
第5回	披露宴の司会③	予定通りに進まないのがイベントにはつきもの。柔軟に対応し進行する事が必要です。
第6回	表彰式の司会	固いイメージの表彰式ですが、盛り上げる場所は盛り上げ締めるところはキッチリと。メリハリが大事です。
第7回	SHOPオープニングセレモニー	新しいお店がオープンします。その時の司会進行です。

クォーター末試験評価方法

出席50% 平常点50%
授業に参加している事。ミスが出ないような事前準備が出来ているか。本番ではスムーズな進行が出来ているか。MC以外の役割も積極的に挑戦しているか等評価します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ミス・ミスターコンテストMC①	企画力、進行力、など多岐にわたっての力が試されます。
第2回	ミス・ミスターコンテストMC②	いかに観客と出演者、そしてMCも楽しんで進行出来るか。もちろん冷静な部分も必要です。
第3回	クイズ大会MC①	問題の作成とスムーズな進行が求められます。
第4回	クイズ大会MC②	難しい問題の際のヒントの出し方。佳境になった時の盛り上げ方などが求められます。
第5回	記者会見の司会	目立ちすぎず的確な進行が出来るか。記者からの質問をうまく捌いていく要素が必要です。
第6回	イベントの企画・発表①	グループを作ってイベントを企画し発表します。1年間の集大成です。
第7回	イベントの企画・発表②	企画力も大切ですが、台本を読む。立ち振る舞い。ミスなく柔軟な進行が求められます。
第8回	1年の振り返りと今後について	MCの授業を通じて感じた事。2年生になるに当たっての豊富をスピーチしてもらいます。

学期末試験評価方法

出席50% 平常点40% 期末試験10% 遅刻欠席がない事。MCとしての技術力。その他の役割も協力的にこなしてきたか等を評価のポイントとします。

声優学科

学期	科目名	担当講師
春	ヴォイストレーニング I	谷育子

科目概要

技術的には、正しい日本語が言えるように、文字になれるようにします。表現としては感情の出し方。まず根本は本人の人間性が大切なので、一人一人の人間性を育てて行きたいと思っています。

到達目標

上手下手ではなく、飽きずに努力するように、使用する作品に興味を持てるように進めます。一人一人が自分で考え、工夫して進んでいくように指導していきます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	声を出す	呼吸、調音、活舌=発音。一人ずつ、そして全員で声を出します。次回の本を渡します。
第2回	本を読む、その1	全員で発声。「鍋の中」井上ひさしの作品。一人ずつ読みます。
第3回	本を読む、その2	全員で発声。「鍋の中」を読みます。前回の分をおさらいして、前に進みます。
第4回	本を読む、その3	全員で発声。「鍋の中」を読みます。前回のおさらいを先に進み終了予定。次回の本を渡します。
第5回	本を読む、その4	全員で発声。ドラマCD「イース女神の記憶」キャストを決めて台詞のやり取りをします。
第6回	演じる	全員で発声。前回の続きをやります。次回の本を渡します。坂口安吾作「桜の森の満開の下」
第7回	本を読む、テスト	全員で発声。前回の残りをやります。「桜の森の満開の下」を読みます。

クォーター末試験評価方法

自己解放が出来ているか、否か、無理なく声が出せるか、どうか。フリートークも時々行って、自分以外の人に自分の考えを知ってもらおう勉強もして参りたいと考えています。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	作品を読む、その1	全員で発声。1クォーターのおさらいと続きをします。
第2回	作品を読む、その2	全員で発声。前回の残りをやります。次回作品「ラヴ・レターズ」を渡します。
第3回	演じる、その1	全員で発声。「ラヴ・レターズ」を、男女、役を分けて読んでいきます。
第4回	演じる、その2	全員で発声。「ラヴ・レターズ」の続きを演じます。
第5回	演じる、その3	全員で発声。前回の続きを表現の工夫をしながら演じます。
第6回	演じる、その4	全員で発声。前回の続きを、更に声の表現を深めて演じます。
第7回	演じる、その5	全員で発声。「ラヴ・レターズ」この部分の終了を目指し、反省と感想を一人一人に聞きます。
第8回	演じる、テスト	全員で発声。テストは、発声の時に使用したテキストの中から出題します。

学期末試験評価方法

・個人個人の成長の度合いによって評価します。観察力と想像力そして自分の表現を聞いている人がいるこ云う事を忘れないでほしいです。

声優学科

学期	科目名	担当講師
秋	ヴォイストレーニングⅡ	谷育子

科目概要

人間的成長を見て行きたい。技術と感性のバランス、経験が未熟な分、現場の空気を伝えて行きたい。マナー等、テーマに入るまでに、発声は毎時間行います。

到達目標

長文を理解して表現できていますか。
個性を活かして声を出せていますか。
総合的に自分の感じたことを表現に生かして声を出せるように習得します。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	作品を読む、その1	全員で発声。 文学作品を読みます。
第2回	作品を読む、その2	全員で発声。 長い作品を読み解きながら進めます。
第3回	作品を読む、その3	全員で発声。 台詞部分を工夫して表現します。
第4回	作品を読む、その4	全員で発声。 朗読として読む場合はどうなるかを実際に声を出しながら進めます。
第5回	作品を読む、その5	全員で発声。一人語りとして読む場合、前回との違いを感じながら読み進めてみます。
第6回	作品を読む、その6	全員で発声。 様々な作品に接し、その違いなどを味わいながら読みます。
第7回	テスト	ここまでの総合的な成長をみます。

クォーター末試験評価方法

詩を読んで感じたことを、自分の音声で表現します(七五調のもの、童謡など)。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	作品を読む1	全員で発声。 これまでの成長を振り返りながら、次に進みます。
第2回	作品を読む2	全員で発声。 まず普通に読みます。
第3回	作品を読む3	全員で発声。 差出人と受け取った人のリアクションを考えます。
第4回	作品を読む4	全員で発声。 場面による理解を深めます。
第5回	作品を読む5	全員で発声。 声に乗せて表現
第6回	作品を読む6	全員で発声。 作品を自分で思うように読んでみます。
第7回	作品を読む7	全員で発声。 更に深め、味わって読みます。
第8回	テスト	1年間の総括 自分の読みを自分で味わい成長を感じてみます。

学期末試験評価方法

毎回授業初めにフリートークをしています。それまでに学んだ文も含め、今一度自分の読みたい部分を読んでもらいます。

声優学科

学期	科目名	担当講師
春	ヴォイスレコーディング I	巻島康一

科目概要

声優の仕事には『アテレコ、ヴォイスオーバー、ナレーションetc』色々ありますが、それら全てに録音機材は付き物です。マイクロホンに到っては、声優の身体の一部と言っても過言ではありません。この授業では声演技の収録に役立つ『必要最小限な技術的知識』と『マイク前の所作』を学びます。その過程で、PC録音編集ソフト「ProTools」の操作が身に付きます。

到達目標

春学期は以下の5つが主な目標です。
 1、各種マイクの特性を知る。 2、マイクとの距離を安定させる。 3、ノイズ対策。 4、収録時のマナー。 5、「ProTools」の基本操作。
 ※ 以下の授業計画は目安であり、進捗状況により変化します。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ヴォイスレコーディング授業とは？	授業の目的と進め方の説明をして、録音編集のデモンストレーションを行います。授業全般についての質疑応答を行います。
第2回	マイクの距離と顔の方向	同一人物の声をマイク条件(距離、向き、マイク種類etc)を変えて数テイク録音再生、その違いを理解します。
第3回	マイクが拾うノイズ	前日に収録した音声からリップ、プレス、ペーパー、私語、吹き、などのノイズをみつけ、再収録でノイズ再現します。
第4回	ProTools の操作1	音響機材は学生全員が利用する公共の機材です。粗末な扱いで故障など起こさぬように使用ルールを覚えます。
第5回	ProTools の操作2	マイクやヘッドホンの繋ぎ方、インターフェイスのセッティング、iMacの立ち上げや基本操作を習得します。 その1
第6回	ProTools の操作3	マイクやヘッドホンの繋ぎ方、インターフェイスのセッティング、iMacの立ち上げや基本操作を習得します。 その2
第7回	ProTools の操作4	デジタル・オーディオ・ワークステーション用ソフトウェア「ProTools」の概要説明とのログイン方法を習得します。

クォーター末試験評価方法

『1.出席率 2.受講態度 3.積極性 4.マイク前所作』
 1、出席率は出席した日数を評価します。 2、受講態度は予習復習や集中度を評価します。
 3、責任ある立場に就く頻度を評価します。 4、安定度合いを評価します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ProTools の操作5	1クォーター全般の質疑応答を行います。新規書類(セッションファイル)の作成と各種トラックの作成方法を習得します。
第2回	ProTools の操作6	コンプレッサーのセッティングと録音レベルの調整の後、自己紹介(60秒)を録音再生します。前回と今回の作業工程を反復練習します。
第3回	ProTools の操作7	コンプレッサーのセッティングと録音レベルの調整の後、自己紹介(60秒)を録音再生します。前々回と今回の作業工程を反復練習します。
第4回	ProTools の操作8	『音源の取り込み』音楽CDやオーディオデータをトラックへ取り込み、自己紹介ナレーションとミックスしてみます。
第5回	ProTools の操作9	『バウンス』自己紹介ナレーションとBGMを一つに纏め、汎用性の高いフォーマットファイルとして変換、書き出してみます。
第6回	CD焼き	書き出した「自己紹介ナレーション」を、CD&DVD作成ソフト『トースト』を使い、CDに焼いてみます。CDプレイヤーで再生確認をします。
第7回	操作方法再確認	これまでの授業内容をQ&A方式で振り返ります。その後、録音再生の作業工程を反復練習します。
第8回	小テスト	ラジオCMの台本を書き、クラスメートからキャストを選び、収録編集してCD提出します。

学期末試験評価方法

『1.出席率 2.受講態度 3.積極性 4.マイク前所作 5.小テストの仕上がり』
 1、出席率は出席した日数を評価します。 2、受講態度は予習復習や集中度を評価します。
 3、責任ある立場に就く頻度を評価します。 4、安定度合いを評価します。 5、台本、配役、収録編集の洗練度を評価します。

声優学科

学期	科目名	担当講師
秋	ヴォイスレコーディングⅡ	巻島康一

科目概要

春学期はテクニカル重視でしたが、今期は作品制作にフォーカスを当て、雇用者からの視点を経験することで、演技者を客観的に考えてみたいと思います。数名でCDドラマ制作チームを組み、脚本、演出、音響オペレーターの担当を割り振り、クラスメートからキャストを選び、音声ドラマを制作します。

到達目標

秋学期は以下の『5つを知る』が目標です。
 1、作品制作の全体像とは？ 2、キャストに求められる物とは？ 3、制作工程のプライオリティとは？ 4、スタッフが敬遠する事柄とは？ 5、「ProTools」とは？

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	架空映画のCM1	三、四人のチームを組み、架空映画のテーマとプロットを創作して、それぞれの担当(脚本、演出、音響オペレーター)を決めます。
第2回	架空映画のCM2	『CMの脚本1』チーム全員で方向性を決め、アイデアを出し合い、脚本担当が台本に起こす。
第3回	架空映画のCM3	『CMの脚本2』台本決定後、クラスメートから仮キャストを選び、出演依頼をする。OKならリハーサル後、実際の収録へ移ります。
第4回	架空映画のCM4	『CMの脚本3』台本決定後、クラスメートから仮キャストを選び、出演依頼をする。OKならリハーサル後、実際の収録へ移ります。
第5回	架空映画のCM5	『BGM&効果音1』PCハードディスク内の著作権フリーBGMや効果音の中から、作品に必要な物を選び、取り込み編集を行います。
第6回	架空映画のCM6	『BGM&効果音2』PCハードディスク内の著作権フリーBGMや効果音の中から、作品に必要な物を選び、取り込み編集を行います。
第7回	架空映画のCM7	『仕上げと作品発表』各トラックのボリューム調整後、バウンスで汎用フォーマットに変換、各チームの作品試聴で意見交換を行います。

クォーター末試験評価方法

『1.出席率 2.受講態度 3.積極性 4.協調性 5.マイク前所作』
 1、出席率は出席した日数を評価します。 2、受講態度は予習復習や集中度を評価します。 3、責任ある立場に就く頻度を評価します。 4、円滑なコミュニケーションを評価します。 5、安定度合いを評価します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	CM「ターニングポイント1」	前回までのチームで以下の作品を収録編集し提出します。『番宣CMターニングポイント』を次回にまでに提出します。
第2回	CM「ターニングポイント2」	前回までのチームで以下の作品を収録編集し提出します。『番宣CMターニングポイント』を授業終わりまでに提出します。
第3回	ボイスサンプル	自分のボイスサンプル作りを担当する音響オペレーターを指名し、60秒のボイスサンプルを仕上げてもらいます。
第4回	ラジオドラマ1	数名のチームで五分間ラジオドラマ「白やぎ宅配便」の収録編集を行います。登場人物は5名、父、母、子供、配達員、謎の生物です。
第5回	ラジオドラマ2	録音手順の打ち合わせをして、キャストینگが決まったらリハーサル後に本番収録です。1チームのブース使用時間を45分とします。
第6回	ラジオドラマ3	録音手順の打ち合わせをして、キャストینگが決まったらリハーサル後に本番収録です。1チームのブース使用時間を45分とします。
第7回	ラジオドラマ4	『BGM&効果音』PCハードディスク内の著作権フリーBGMや効果音の中から、作品に必要な物を選び、取り込み編集を行います。
第8回	ラジオドラマ5	『仕上げと作品発表』各トラックのボリューム調整後、バウンスで汎用フォーマットに変換、各チームの作品試聴で意見交換を行います。

学期末試験評価方法

『1.課題の仕上がり 2.出席率 3.受講態度 4.積極性 5.協調性 6.マイク前所作』
 1、洗練度を評価します。 2、出席率は出席した日数を評価します。 3、受講態度は予習復習や集中度を評価します。 4、責任ある立場に就く頻度を評価します。 5、円滑なコミュニケーションを評価します。 6、安定度合いを評価します。

声優学科

学期	科目名	担当講師
春	スタジオワーク I	小山みか

科目概要

オーディション、収録、ステージなど、人前で緊張せずに自分の言葉で話し、表現することができるように、いろんな場面を想定して授業を行います。そのための準備運動、発声も行います。

到達目標

課題を発表するにあたり、緊張下のなかでもリラックスして自身の表現を行うことを目標とします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	自己PR	準備運動、ストレッチ、発声 自己PR
第2回	自分の声をきく①	準備運動、ストレッチ、発声、シアターゲーム 『自分の好きなもの』についてのスピーチを録音します。
第3回	自分の声をきく②	『自分の好きなもの』についてのスピーチを録音したものを聴き、自分を分析してみます。
第4回	ショートドラマ①	舞台の脚本のワンシーンを、2人1組で演じます。
第5回	ショートドラマ②	前回やった脚本のワンシーンを、録音します。
第6回	ショートドラマ③	前回の録音を聴き、実際に体を動かして演じた時と同じように、マイクの前で演じた時に掛け合いができているのか確かめます。
第7回	長いセリフを演じてみる①	マイクの前に立ち一人で長いセリフを演じてもらい、録音をします。内容をしっかり解釈し、表現ができているかを確認します。

クォーター末試験評価方法

出席30%、平常点(モチベーション・予習復習)50%、試験20%
自分の考えをしっかりと持ち、相手に伝わるように話せるかを確認します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	長いセリフを演じてみる②	実際に演じた録音したセリフを聴き、自分の意図したものが表現できているかを確認します。
第2回	物語を読む①	自分の好きな童話、小説の1シーンを朗読します。
第3回	物語を読む②	前回選んだ作品の1シーンを、録音します。
第4回	オリジナルCM①	自分を商品に見立て、オリジナルのCM原稿を作ります。原稿の書き方も学びます。
第5回	オリジナルCM②	作った原稿を、実際にマイク前に立ち録音します。
第6回	ショートドラマ④	2人1組になり、かけあいの台本の読み合わせをします。
第7回	ショートドラマ⑤	実際に演じて、相手との交流がしっかりできているか、イメージ通りに表現できたかを確認します。
第8回	漫画を演じる①	漫画を台本として声に出して読みます。

学期末試験評価方法

出席30%、平常点(モチベーション・予習復習・提出物)50%、学期末試験20%
提出物は、指定した原稿の仕様をきちんと理解して提出できるか確認します。

声優学科

学期	科目名	担当講師
秋	スタジオワークⅡ	小山 みか

科目概要

春学期に引き続き、いろんな場面を想定して課題に取り組みます。想像力、創造力を使い、表現を豊かにしていきましょう。

到達目標

声、演技、自分自身を知り、分析して、だめ出しに対応できる柔軟性を身につけることを目標にします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	漫画を演じる②	チームをつくり、登場人物のキャスティングを行い、読み合わせをします。
第2回	漫画を演じる③	前回作ったチームで録音をします。
第3回	漫画を演じる④	録音したものを聴き、イメージ通りに仕上がったか、作品の世界感や役の関係性、交流が成立しているかお互いを確認します。
第4回	ステレオドラマ①	キャスティングをして、チームごとに読み合わせをします。
第5回	ステレオドラマ②	リーディングライブを想定し順番に発表してもらいます。
第6回	ステレオドラマ③	収録をします。
第7回	模擬オーディション①	ゲームのオーディションを想定し、自分で受けたい役を選んで演じます。

クォーター末試験評価方法

出席30%、平常点(モチベーション・予習復習)40%、提出物10%、試験20%
積極性を重視します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	模擬オーディション②	プロダクションオーディションを想定し、複数の役の中から得意だと思える役を選び演じます。
第2回	物語を読む③	オリジナルの物語を発表します。
第3回	物語を読む④	オリジナルの物語を発表します。
第4回	ドラマCD①	課題の読み合わせをします。
第5回	ドラマCD②	キャスティングを決定してチームを作り、さらに読み合わせを重ねます。
第6回	ドラマCD③	前回作ったチームで録音をします。
第7回	ドラマCD④	録音したものを聴き、イメージ通りに仕上がったか、作品の世界感や役の関係性、交流が成立しているかお互いを確認します。
第8回	模擬オーディション③	自己PRをし、セリフ、ナレーションの課題を読みます。

学期末試験評価方法

出席30%、平常点(モチベーション・予習復習・提出物)50%、学期末試験20%
課題に積極的に取り組み、自分のキャラクターのいいところと自分に足りないと思うことを見つけられているかを確認します。

声優学科

学期	科目名	担当講師
春	パントマイム I	栗原一

科目概要

パントマイムにおける基本のテクニックを習得し、表現力の幅を広げます。

到達目標

- ・自分の体を知り、自由に使えるようにします。基本的なテクニックの「ロープ」「カベ」等を習得します。
- ・「ひく」「ひかれる」の動作が出来切るように。
- ・相手を見ているか、動作を理解できたかなどを確認し、集中力を養います。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	身体能力の確認	現時点での体力を測定します。
第2回	基本動作動作の習得 自分の体を知る1	ロープテクニック「引く」を実演してみます。
第3回	基本動作動作の習得 自分の体を知る2	ロープテクニック「引かれる」を実演してみます。
第4回	基本動作動作の習得 動きの応用	ロープテクニック「応用1」
第5回	基本動作動作の習得 更に発展した動きへ	ロープテクニック「応用2」
第6回	成果の確認	これまで学習したテクニックを披露します。
第7回	特別授業	ジャグリング

クォーター末試験評価方法

出席率とマイムテクニックの正確性を評価します。
出席率:50%、テクニック:50%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	身体能力の確認	現時点での体力を測定します。 これまでに鍛えられた事を実感します。
第2回	パントマイムにおける基本動作の習得	カベのテクニック「押す」を実演してみます。
第3回	パントマイムにおける基本動作の習得	カベのテクニック「押される」を実演してみます。
第4回	パントマイムにおける基本動作の習得	カベのテクニック「移動」を実演してみます。
第5回	パントマイムにおける基本動作の習得	カベのテクニック「応用1」
第6回	基本動作の習得 更に応用した動きへ	カベのテクニック「応用2」
第7回	テスト	これまで学習したテクニックを披露します。
第8回	特別授業	ジャグリング

学期末試験評価方法

出席率とマイムにおける表現方法及びマイムテクニックの正確性を評価します。
出席率:50%、テクニック:50%

声優学科

学期	科目名	担当講師
秋	パントマイムⅡ	栗原一

科目概要

パントマイムにおける基本のテクニックを応用し、様々なシチュエーションでのテクニックを習得します。

到達目標

基本テクニックの応用である「重さ」や「軽さ」等を習得します。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	身体能力の確認	現時点での体力を測定します。
第2回	基本動作の習得 自分の体を理解した行動	重さのテクニック「持つ」を実演してみます。
第3回	基本動作の習得 自分の体を理解した行動	重さのテクニック「下ろす」を実演してみます。
第4回	基本動作の習得 自分の体を理解した行動	重さのテクニック「移動」を実演してみます。
第5回	基本動作の習得 自分の体を理解した行動	重さのテクニック「色々なものを持つ」を実演してみます。
第6回	成果の確認	これまで学習したテクニックを披露します。
第7回	特別授業	ジャグリング

クォーター末試験評価方法

出席率とマイムテクニックの性格性を評価します。
出席率:50%、テクニック:50%

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	身体能力の確認	現時点での体力を測定します。
第2回	基本動作の習得 さらに次の段階の動きに挑戦	軽さのテクニック「持つ」を実演してみます。
第3回	基本動作の習得	軽さのテクニック「浮く」を実演してみます。
第4回	基本動作の習得	軽さのテクニック「押さえる」を実演してみます。
第5回	基本動作の習得	軽さのテクニック「移動」を実演してみます。
第6回	基本動作の習得	軽さのテクニック「風船」を実演してみます。
第7回	テスト	これまで学習したテクニックを披露します。
第8回	特別授業	ジャグリング

学期末試験評価方法

出席率とマイムにおける表現方法及びマイムテクニックの性格性を評価します。
出席率:50%、テクニック:50%

声優学科

学期	科目名	担当講師
春	ジャズダンス I	毛利あゆみ

科目概要

身体の柔軟性・俊敏性を発見し、自由に身体を動かす事の楽しさ、リズムに合わせてアイソレーションやステップを自分自身のものに出来るよう学んでいきます。

到達目標

ウォームアップ・ストレッチ・筋トレなどを通じて、ダンスに必要な身体の使い方が出来る。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ウォームアップ・ストレッチ・筋力アップ	身体の様々な部分を動かして、その方法を学びます。
第2回	スタンス&バランス	正しい姿勢・重心の置き方を学びます。
第3回	アイソレーション&リズム	身体の各部でリズムを取り、その方法を学びます。
第4回	アイソレーション&ステップ	身体の使い方の違いを確認し、リズムを感じて表現します。
第5回	ウォーキング&ステップ	ウォーキングからステップについてのトレーニング。
第6回	総合	全行程のまとめスキルアップ。
第7回	期末試験	振付作品を踊ります。

クォーター末試験評価方法

踊るために必要なバランスの良い筋肉の使い方が出来ているかをチェックします。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ウォーキング&ステップ	ウォーキングからステップについて更に強化します。
第2回	ステップ&アイソレーション	ステップを刻みながら身体各部分を細かく動かす方法を学びます。
第3回	ステップ&アイソレーション	ステップを刻みながら身体各部分を細かく動かす方法を学びます。
第4回	ステップの応用	様々なステップをトレーニング。
第5回	表現とレベルアップ	全身を使って表現することを学びます。
第6回	表現とレベルアップ	「見せ方」を意識した表現を学びます。
第7回	総合	最終確認。
第8回	期末試験	振付作品を踊ります。

学期末試験評価方法

どこまで自分の身体を思い通りに動かす事が出来、自己表現が出来ているかをチェックします。

声優学科

学期	科目名	担当講師
秋	ジャズダンスⅡ	毛利あゆみ

科目概要

身体のコントロールを学び、柔軟性・俊敏性・表現力を更に身につけます。春学期で取得したテクニックのバリエーションを与え、より楽しく踊れるようにします。

到達目標

自由に身体を動かす為の柔軟性や筋力をバランス良く保ち、その上でテクニックと表現がアピール出来るか。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	柔軟性と筋力のアップ	ストレッチと筋力トレーニングを更に高めます。
第2回	アイソレーションの強化	身体の各部分を細かく動かし、更に連続して動かすトレーニング。
第3回	アイソレーションの強化	身体の各部分を細かく動かし、更に連続して動かすトレーニング。
第4回	ステップの強化	様々なステップのトレーニング。
第5回	ステップの強化	様々なステップの応用。
第6回	総合	最終確認。
第7回	期末試験	振付作品を踊ります。

クォーター末試験評価方法

様々なステップ表現方法で作品を通して自己アピール出来ているかをチェックします。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	テクニックの強化	様々なステップ・アイソレーションのトレーニング。
第2回	テクニックの強化	様々なステップと重心移動の強化。
第3回	テクニックの強化	ステップとステップのつながりのスムーズさを学びます。
第4回	表現力とレベルアップ	表現方法を学びます。
第5回	表現力とレベルアップ	表現方法を学びます。
第6回	表現力とレベルアップ	トータルの完成度を上げます。
第7回	総合	最終確認。
第8回	期末試験	振付作品を踊ります。

学期末試験評価方法

1年間で習得した基礎・応用が身につき、作品の中でイメージを膨らませ表現出来ているかをチェックします。

声優学科 共通

学期	科目名	担当講師
春	ソルフェージュ I	河村 智昭

科目概要

- ・メロディを聴いておぼえる、メロディを聴いて階名唱する
- ・楽譜を見て歌う、鍵盤で弾く
- ・知っている(おぼえた)メロディを楽譜に書いてみる
- ・いろいろなキー(調)、いろいろな拍子

到達目標

演奏家でなくても、尚美のあらゆる学科は音楽とつながった世界で仕事をするようになります。プレイヤー、スタッフ、マネージャーなど、あらゆる人々とのコミュニケーションに必要な楽譜の知識、読み書きなどを、楽しみながら学んでいきます。経験がない、不得手という人も心配不要です。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス	自分は「音階」を持っているか？ 授業をスタートするにあたって、これまでの経験や理解度を確認します。
第2回	階名唱	知っている歌、おぼえた歌を階名(ドレミ)で歌えますか？
第3回	記憶階名唱	音を聴いて階名(ドレミ)を当てる。知っているメロディに階名をつける。知っているメロディを鍵盤で弾いてみる。
第4回	メロディ初見	楽譜の基礎知識。五線譜や音符、いろいろな記号と名前を知る。簡単な楽譜(メロディ)を見て歌って(弾いて)みましょう。
第5回	メロディ初見・記譜	初めて見た楽譜をすぐに歌う、弾く。おぼえたメロディをもう一度楽譜に書けますか？
第6回	記憶階名唱・記譜	メロディをおぼえて階名唱する。楽譜に書いてみる。次週の試験について説明します。
第7回	中間試験	授業で扱ったメロディをおぼえて(暗譜)階名唱する。鍵盤で弾く。楽譜に再現してみる。

クォーター末試験評価方法

試験課題は全て授業で扱ったメロディです。自分で好きな課題を選んで、暗譜で歌う(階名唱)、暗譜で弾く、もう一度楽譜に書く試験です。評価は試験成績を50%、平常の授業での取り組みを20%、出席率を30%の比率で算出します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	メロディ初見・記譜	1クォーターで扱った曲のメロディやリズムを少し変えてみます。どこが変わったのかを発見し、演奏します。
第2回	聴き取り(リズム・歌詞)	「元気を出して／竹内まりや」を題材に、聴きながら歌詞を書き取る、おぼえて歌う、弾くなどに挑戦してみましょう。
第3回	聴き取り(リズム・メロディ)	「元気を出して」の歌詞を、8分音符刻みでタイミングを判断し、グラフ上に記入します。また鍵盤で階名を探ります。
第4回	いろいろな拍子	これまでの全ての課題は4分の4拍子でしたが、4分の3拍子、8分の6拍子の課題を歌い、弾いてみます。
第5回	いろいろな拍子	4分の3拍子と8分の6拍子の書き方の違いを理解し、いろいろな課題を実施します。
第6回	いろいろな拍子	これまでに扱った(おぼえている)課題の拍子を変える、メロディを変えるなどのバリエーションに挑戦します。
第7回	試験準備	次週の期末試験用の課題を提示し、拍子、リズム、音程などの確認の後、歌う、弾く練習を行います。
第8回	期末試験	授業で扱ったメロディをおぼえて(暗譜)階名唱する。鍵盤で弾く。楽譜に再現してみる。

学期末試験評価方法

試験課題は全て授業で扱ったメロディです。自分で好きな課題を選んで、暗譜で歌う(階名唱)、暗譜で弾く、もう一度楽譜に書く試験です。評価は試験成績を50%、平常の授業での取り組みを20%、出席率を30%の比率で算出します。

声優学科 共通

学期	科目名	担当講師
秋	ソルフェージュⅡ	河村 智昭

科目概要

- ・初見視唱、初見奏、リズム打ち、リズム読み
- ・和音(コード)とコードネーム、ベース音
- ・ハモリ、アンサンブル、合奏
- ・弾き語り

到達目標

3クォーターは特にリズムに注目し、またメロディだけでなく、コードネームからベース音、和音などを判別し、歌ったり弾いたりできるようにします。
4クォーターは、メロディに対してのハモリ、アンサンブル、合奏、さらには弾き語りなどに範囲を広げ、いろいろな楽譜に対応できることを目指します。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	8分の6拍子の復習	「元気を出して／竹内まりや」を4分の4拍子から8分の6拍子に。 「actuality／柴咲コウ」の楽譜
第2回	16分音符を含むリズムパターン	4分の4拍子で使われる、16分音符を含むリズムパターン全てを読める、演奏できる、書けるようにする。
第3回	16分音符を含むリズムパターン	リズムに重点を置いた課題の実施。 4分の4拍子課題①②
第4回	リズム課題、コードと伴奏	リズムに重点を置いた課題の実施。 コードを見て鍵盤で弾く。コード(右手)とベース(左手)
第5回	伴奏と弾き語り	メロディ、コード、ベースの3パートを両手で弾くには。 メロディを歌いながら両手で伴奏(弾き語り)をする。
第6回	総合課題、試験準備	授業内で扱ったリズムに重点を置いた課題の復習。 次週の試験の準備をします。
第7回	中間試験	授業内で扱ったリズム総合課題を、階名唱または鍵盤奏する。 楽譜を見ながらでよい。

クォーター末試験評価方法

自分で好きな課題を選んで、リズム打ちをする、リズム通りに階名を読む、歌う、弾くなどを行います。暗譜は必須ではありません。
評価は試験成績を50%、平常の授業での取り組みを20%、出席率を30%の比率で算出します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	初見視唱、初見視奏	簡単なメロディを初見で歌う、弾く メロディの一部を変えてみる。フェイク、バリエーション。
第2回	アンサンブル(コードとハモリ)	コードネームを見て、ベース音を判断する。 コードの構成音を考え、任意の音を選びハモってみる。
第3回	アンサンブル(コーラス、合奏)	「Silent Night」(4パート)を、合奏する。合唱する。 ヘ音記号を読む。
第4回	総合課題	歌う、弾く、ハモる、弾き語りするなど、いろいろな演奏形態で課題を実施します。
第5回	ピアノ奏、メロディと伴奏、合奏	期末試験課題① メロディ+ピアノ伴奏課題。各パートを弾く。複数パートを同時に弾く、弾き語りするなどに挑戦。
第6回	ポップス曲を歌う	期末試験課題② 「ただ今日も信じてる」 歌詞付きのポップス楽曲を楽譜で提供。「歌」として仕上げてみる。
第7回	ピアノ奏(テンポとスピード)	期末試験課題③ メロディ課題。早いテンポの曲を、鍵盤や旋律楽器で弾いてみる。
第8回	期末試験	期末試験課題①～③のうち、いずれかを実施。練習の成果をいかに見せるか、完成度をいかに高めるか。

学期末試験評価方法

試験課題は全て授業で扱ったメロディです。
自分で好きな課題(①～③)を選んで、歌う、弾く、ハモる、弾き語りするなど、自分に可能な形態で演奏し、楽曲(音楽)として成立するまで取り組んだかを評価します。
評価は試験成績を50%、平常の授業での取り組みを20%、出席率を30%の比率で算出します。

声優学科 共通

学期	科目名	担当講師
春	ヒップホップ I	山崎拓也

科目概要

ヒップホップダンスの基礎を中心に学んでいきます。リズムの取り方(アップ・ダウンなど)、体の部分部分を独立させて動かすアイソレーションを覚えていきます。難しく見えるステップも1つ1つ解説しながら頭ではなく体で覚えていきます。

到達目標

リズムトレーニングではアップとダウンの違いを理解できるようにします。アイソレーションは部分的に独立させて動かすにはどこを意識しなければならないかを考えながら行い体に染みつかせていきます。それだけが単体で出来るようになったら振付に反映できるようにしていきます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	リズムトレーニング	基本中の基本のアップとダウンを覚えます。アップとダウンを行いながら2ステップ、4ステップなども行っていきます。
第2回	アイソレーション	首、胸、肩、腰のアイソレーションを覚えます。どこに力を入れると動かないかなど体の仕組みも理解します。
第3回	リズムトレーニング & アイソレーション	リズムキープをしたままアイソレーションを行っていきます。2つの事を同時に出来るように反復練習します。
第4回	ステップ練習①	ヒップホップの代表的なステップを覚えていきます。ただステップを踏むのではなくリズムキープが出来るように練習します。
第5回	ステップ練習②	リズム重視のステップを覚えます。リズムキープが出来る事が目標で更にアイソレーションも入れられるようにしていきます。
第6回	おさらい	ここまでで習った事を応用した振付を覚えて自分なりのヒップホップを表現していきます。
第7回	発表(クォーター末試験)	短い振付を覚えて少人数ずつ発表していきます。アドバイスをし自分の動きの幅を広げていきます。

クォーター末試験評価方法

出席40%、試験30%、平常点30%

アップとダウンの違い、アイソレーションを理解できているか、ステップもただ踏むのではなくリズムを理解しながら踏めているかを見ていきます。また、日頃の態度(遅刻、マナーなど)も重要視していきます。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	復習①	リズム取りとアイソレーションの向上をしていきます。自分で理解して使い分けが出来ているか確認していきます。
第2回	復習②	リズムキープをしたままステップの練習をしていきます。アップなのかダウンなのか自分で感じながら練習していきます。
第3回	3つの動きの確認	アイソレーションを使いリズムキープしたままステップ練習をしていきます。3つの動きを同時に出来るか確認していきます。
第4回	ステップの応用	今まで習ってきたステップの応用をしていきます。アップ・ダウンと2つのリズムで同じステップ練習を行っていきます。
第5回	ステップ練習③	リズムが複雑なステップを覚えます。しっかりとリズムを刻みながらステップが踏めるように練習していきます。
第6回	技練習①	ヒップホップで使われる技を覚えていきます。形、流れを理解して正しい形で技が出来るように練習します。
第7回	技練習②	前回学んだ技を振付の中で行えるようにしていきます。技単体ではなく流れの中で行えるように練習します。
第8回	試験(学期末試験)	技、ステップが入っている振付を覚えて発表していきます。それぞれが単体にならず1つの流れとして見せられようしていきます。

学期末試験評価方法

出席40%、試験30%、平常点30%

1クォーターで学んだ事を理解して使いこなす事ができているかを評価してきます。また新しいステップや技など最初は出来なくても諦めないで何度も挑戦していく姿勢も評価のポイントとしていきます。

声優学科 共通

学期	科目名	担当講師
秋	ヒップホップⅡ	山崎拓也

科目概要

ヒップホップをさらに追求していきます。ステップ、ボディコントロール、音に対するアプローチなど学んでいきます。楽曲にあった体の使い方、踊り方を学んで自分の踊りの幅を広げていき、いろいろな表現が出来るようにしていきます。

到達目標

踊りの中で緩急をつけられるようにただ踊るのではなく体の使い方を理解し、いろいろな曲を聴いてその曲に合った踊り方が出来る事を目標とします。ただ体を動かすのではなく自分で意識をして形を表現できるようにしてそれが無意識に出来るようにしていきます。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ゆっくりな曲	テンポの遅い曲で踊ります。曲が遅いので、体を大きく使わないと音が余ってしまうのでいつもよりも大きく踊ることを心がけます。
第2回	速い曲	テンポの速い曲で踊ります。曲が速いので、体が流れないように体を締めて正確に踊れるように心がけます。
第3回	違う曲で同じ振りを踊る	曲によって音の取り方ニュアンスが変わってくるのでそれに対応した踊り方が出来るようにしていきます。
第4回	フロアーを覚える	体を痛めないフロアーへの入り方を覚えます。体の使い方、流れを理解してスムーズに行えるようにします。
第5回	フロアーと技のコンビネーション	2クォーターで習った技とフロアーを合わせていきます。単体の動きにならずに流れを意識していきます。
第6回	ステップ・フロアー・技のコンビネーション	ステップ→フロアー→技の流れをスムーズに行えるようにしていきます。1つ1つ単体の動きにならに用い気をつけます。
第7回	発表(クォーター末試験)	ステップ→フロアー→技が入った振付を覚えて発表します。すべての流れを理解しスムーズに行えるようにします。

クォーター末試験評価方法

出席40%、試験30%、平常点30%

自分なりにいいので曲のイメージ、遅い曲、速い曲などその曲にあった踊り分けが出来ているかを評価していきます。フロアー、技は出来なくても怖がらずに挑戦をしていく姿勢があるかを評価していきます。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	振付①	振付を覚えるスピードを鍛えていきます。少ない振り入れで正確に振付を覚えられるようにしていきます。
第2回	振付②	グループ分けをして振付にフォーメーションをつけていきます。振付だけではなく立ち位置も正確に覚えられるようにしていきます。
第3回	振付③	振付に構成をつけていきます。自分がどのタイミング踊るか理解できるようにしていきます。
第4回	発表	グループ毎に発表をします。人に見られていても自分の踊りが出来ていて正確に踊れるようにしていきます。
第5回	振付④	グループ分けをして前回よりも長い振付を覚えていきます。自分のパートを正確に踊れるようにします。
第6回	振付⑤	振付の中にソロパートを作るのでそこを自分で考えて作ってみます。自分の最大限を出せるようにします。
第7回	振付⑥	踊りこみをしていきます。発表の時に着る衣装を話し合い決めていきます。
第8回	発表(学期末試験)	衣装付で発表を行います。1年間のまとめとしてどんな1年だったか、2年に上がったらどうなりたいか発表します。

学期末試験評価方法

出席40%、試験30%、平常点30%

今まで習ってきた事や応用した振付をグループ毎に覚えて人前で踊る度胸をつけていきます。1人で踊るのではなくグループの皆で踊っていることを感じてチームとして踊っているかを評価していきます。